

# 大分社会科学学際研究会

Oita Interdisciplinary Meeting of Social Sciences (OIMSS)

## 第4回研究会開催のお知らせ

以下の要領で研究会を開催します。院生・学部生を含め、ご関心のある方の参加を歓迎します。なお、事前申し込み等は不要です。

日時 : 2018年7月18日(水) 13:00 ~ 14:30

会場 : 経済学部棟 第12演習室

報告者 : 小池 澄人 氏 (大分大学大学院経済学部研究科博士前期課程1年)

論題 : 物理主義による意識の自然化と認識ギャップ

要旨 : 近年、心の諸科学の成果によって自然科学による心の理解は飛躍的な発展を遂げていると思われる。このような事実はわれわれに「自然科学によって心が完全に解明される日が来るかもしれない」という希望を抱かせる。このような考え方は、自然主義的であると言われる。しかし、心のひとつの側面である「意識」には、自然主義的に理解することが困難な側面が存在すると主張されることがある。その代表的な論者であるチャーメーズは、意識を自然主義的に理解するという課題を、「意識のハード・プロブレム」として提示する。チャーメーズは、意識のハード・プロブレムは物理主義の枠組みでは解決不可能であるとし、物理主義は偽であると論じる。

このような反物理主義的な主張に対して、物理主義者は何らかの応答を迫られている。物理主義者は意識の自然主義的な理解の可能性を示し、物理主義を擁護せねばならない。

本発表の目的は、チャーメーズの意識のハード・プロブレムと彼に代表される反物理主義者による物理主義への批判に対して、物理主義者がどのように応答することができるかを検討することである。

お問い合わせ

金子 創 (社会イノベーション学科)

E-mail : skaneko@oita-u.c.jp

または、教育研究支援室 Tel : 7662 E-mail : resupp@oita-u.ac.jp